

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	大井町	亀岡市の「高齢者社会」に対するマスタープランの内容、及び地域が担う役割 上記施策を遂行するための諸規制改革等(過疎地域対策及び人口増加対策等規制改革)について	<p>亀岡市では高齢化施策のマスタープランとして「いきいき長寿プラン」を策定しております。これは高齢者全体にわたる施策を計画した高齢者福祉計画、介護保険事業計画で構成しており、これを3年ごとに改定してマスタープランとしております。</p> <p>いきいき長寿プランは、団塊の世代が75歳以上になる平成37年を目途に高齢者が重度の要介護状態になられても、住み慣れた大井町の中で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供できるシステムを目指すものです。</p> <p>また、認知症の高齢者が増加していることから、平成30年4月からは医師、看護師等で構成した認知症の初期集中支援チームをつくり初期的な対応を行うとともに、相談窓口として認知症カフェの開設をして相談にあたっていきたくと考えています。</p> <p>今後要支援の方が増えてくることから、その受け皿をどうするかが一番大きな問題だと認識しており、その方々に居場所に集まって頂き、そこで清掃、ゴミ出し、買い物などができない方へのボランティアやNPOが対応するサービスを考えています。それが進化するなかで専門的な介護事業所になっていくイメージを描いている所です。</p>	健康福祉部長	①実施	<p>地域で生活支援体制を構築していくためには、総合事業を通じて単に介護事業を展開するのではなく、地域づくりを進めていく必要があります。そのために、既に各地域にある集いの場を見つけ、つないで、更に地域において必要とされる場合は、場の創り出しを行う。こうした一連のステップを踏んでいくことが必要と考え、現在は、地域における集い場探しを継続的に行っているところです。</p>
			<p>全市的に人口減少を食い止めるために定住者を増やす施策として、平成28年10月21日に空き家バンクを創設しました。</p> <p>空き家を活用して人口増につなげていき、また皆様の中で空き家をお持ちの方、親戚や近所の方で空き家があるという方は是非とも登録して頂きたいと考えております。</p> <p>7月3日から子が亀岡を一旦離れ、同居・近居等のUターンで戻られた場合、家の取得・改築費や引っ越し費用として上限20万円の補助制度が始まりました。それが亀岡の人口増、大井の人口増につながればありがたいと考えています。</p>	市長公室長	①実施	<p>一昨年10月に創設しました空き家バンクにつきましては、平成30年1月末日現在で登録物件が12件、利用希望が62人となっています。市外からの移住者とのマッチングが成功した事例も増えてきており、徐々に動きが活発になってきているところです。移住者を増やすためには空き家の発掘が重要となることから、自治会におかれましても所有者への働きかけに御協力をお願いします。</p> <p>また、子育て世帯のUターンへの補助につきましても、積極的な活用に向けて、住民の皆様への周知に御協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。</p>
			<p>市の財政状況として、平成19年度から平成28年度の義務的経費を比較すると平成19年度で45億4000万円、平成27年度決算では76億1400万円、平成28年決算は今調整していますが、平成19年度と比べて30億7400万円と9年間で増額しています。その反面、一般財源(市税)の伸びは全くない状況で税収が100億を切っており大変厳しい状況です。その中で、義務的経費を削減するのは至難の業であり、できるだけ扶助費のお世話にならずに生活できる方々を増やしていかなければならない状況です。</p> <p>3月議会の一般質問で「撤退の行政」をしなければいけないのではないかと質問を受け、市長がその時代にあった「最適の行政」をしなければならぬと答弁させていただいたところであり、今後は財政の最適化を目指して取り組んでいきたいと考えています。その中には受益者負担の原則に伴い、サービスを受けて頂く方にどれくらいの負担(使用料やそれぞれの料金)を頂ければ良いのかということについて、もう一度見直しを行い、何が最適なのかを洗い出し、亀岡市の財政、行政が継続性を持った行政ができるように一から見直す作業をもっと徹底して行ってまいります。</p>	企画管理部長	①実施	<p>本市の財政基盤を将来にわたり健全で持続可能なものとするため、財政の最適化を図る取組を今夏に実施しました。今年度初の取組として各部局において全ての事務事業を見直し、事業の取捨選択を行い、理事者とのヒアリングを経て、見直しの方向性を確認しました。その結果を踏まえて、平成30年度当初予算に反映させてまいります。</p>
2	大井町	【質問事項等】 ボチボチ教室への補助が打ち切りになり継続ができなくなったことについて 今後の考えは	<p>ボチボチ教室を2ヶ所でお世話になっておりましたが、国の介護保険法が変わった関係で介護予防を重視するという事になり継続が不可能になりました。それに変わって認知症カフェという形で運営させて頂くこととなっていますが、何か継続する方法はないか検討しているところです。</p>	健康福祉部長	①実施	<p>介護保険法の改正により、これまでの介護予防事業は「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行され、従来の介護予防教室は廃止されました。新しい総合事業では、介護予防・生活支援サービス事業として、おおむね6ヶ月に限定した短期集中予防サービス(C型事業)を新しく開始しています。</p> <p>認知症カフェは、認知症の人や認知症の介護家族の不安や負担軽減の目的で、10月から市内1カ所で週1回開催しています。(ボチボチ教室終了後、独自事業として1カ所行われています。)</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	大井町	【質問事項等】 調整区域に家が建てられないのは なんとかならないか	今年の4月から亀岡市が開発許可権者となりました。亀岡市では調整区域に新たな人が住めるようにする制度を保津町と河原林町をモデルに検討しており、今後は調整区域全体的に検討を進めたいと考えています。 今後Uターンはもちろん、Iターンで例えば小さい田畑を借りて農業をしたいという人も住めるようにしようという事で制度を変えていきますのでもう少しお待ち願いたいと思います。	市長 (まちづくり推進部)	⑥その他	市街化調整区域の既存集落の区域指定について、今年度は保津町をモデル地区として取り組んでいます。来年度以降、地元合意が得られる地域から、順次、区域指定に向けた協議を進めたいと考えています。 なお、現行制度においても、市街化調整区域内に自己用住宅等を建築できる場合がありますので、個別案件について都市計画課まで相談してください。
4	大井町	公共インフラ関連対策について ・桂川右岸道路整備計画の進捗状況 ・府道並河王子線の残存未整備区間の進捗状況及び南部土地区画整理事業地内の都市計画道路との連結(犬飼川新橋含)状況 ・桂川右岸圃場整備事業地内の「雨水排水路」犬飼橋新設及び関連道路整備計画状況(圃場整備組織関連)	国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」につきましては、桂川西工区として、大井町並河区、土田区及び千代川町高野林区、小林区の農地約68haの区画整理を行うもので、ほ場整備に伴う公共インフラの整備を合わせて行いたいと考えています。 犬飼川左岸雨水排水計画により、雨水排水路の整備を計画しており、用地については、ほ場整備の換地手法により確保するものです。 犬飼川を跨ぐ橋梁につきましては、大型機械が農地に進入するための橋梁整備計画と併せて、亀岡市都市計画マスタープランに位置付けられている桂川右岸道路整備計画における橋梁として、ほ場整備事業と道路事業によって費用の分担をしながら整備を進める計画です。 現在、河川管理者である京都府河川課及び南丹土木事務所、市桂川・道路整備課と橋梁の設置位置、構造等について協議調整を行っている状況です。	産業観光部 農政担当部長	①実施	橋梁については、桂川右岸道路整備計画と併せた整備を行うため、河川管理者である京都府南丹土木事務所、亀岡中部農地整備事業所、京都府南丹広域振興局、市桂川道路整備課において、橋梁設置に向けた協議を進めています。
			桂川右岸道路につきましては、国道9号の渋滞緩和や災害時における緊急輸送路として大変効果がある路線と認識しており、本市の都市計画マスタープランにも構想路線として位置付けしているところですが、千代川町川関から宇津根までの具体化につきましては、事業延長も約3.5kmで一級河川を2箇所渡河する必要があるなど大規模な事業であることから、全体構想を視野に入れる中で手戻り等が生じないよう、国営緊急農地再編整備事業(桂川西工区)と連携した道路整備を計画しており、今年度は犬飼川を渡河する橋梁の新設に係る確約書の締結等を進める予定です。 府道王子並河線につきましては、都市計画道路並河亀岡停車場線として京都府により、大井町並河坂井～河原町間(650m)において事業実施して頂いています。平成29.30年度は、残る赤川橋梁付近と市道並河北河原町線交差点付近の工事を予定しており、平成30年度に完成予定と聞いています。 一方、大井町南部土地区画整理事業により大井町並河の国道9号から犬飼川左岸手前まで都市計画道路並河亀岡停車場線として平成30年度の完成に向け整備が進められています。 こん談事項にある南側北側それぞれ整備中の道路の接続区間となることから、切れ目なく継続的に事業化を図ってもらおう、本市としても京都府へ強く要望活動を行ってまいります。	土木建築部長	①実施 ④要望	こん談会時の回答のとおりです。
			桂川西工区のほ場整備事業地内の雨水排水路につきましては、犬飼川左岸雨水排水事業として雨水排水計画とほ場整備計画との整合を図りながら雨水排水ルート、断面について市農地整備課と協議調整を行っています。管理用道路につきましても、ほ場整備の道路計画と整合を図りながら協議を進めており、ほ場整備地内の雨水排水ルート、道路計画等が確定しましたら、更に詳細検討・設計を行い、計画を確定していく状況です。	上下水道部 事業担当部長	②実施予定	現在、犬飼川左岸雨水排水事業として雨水排水計画とほ場整備計画との整合を図りながら雨水排水ルート、断面、管理用道路について市農地整備課と協議調整中であり、ほ場整備地内の雨水排水ルート、道路計画等が確定しましたら、更に詳細検討・設計を行い、計画を確定していく状況です。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	大井町	<p>自然災害等防災対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桂川に合流する地点の犬飼川、願成寺川の抜本的な整備計画の進捗状況ロードマップについて</li> <li>桂川右岸の霞堤等洪水常襲地域回避対策進捗状況、ロードマップについて</li> <li>通称金岐山一帯の治山防災対策の進捗状況、ロードマップについて</li> </ul>	<p>こん談事項の箇所は桂川の霞堤となっていることから暫定的な堤防形状となっております。桂川の河川改修は、嵐山地区から下流の国土交通省直轄区間の河川改修事業と上下流のバランスを確保しながら進められており、今後も霞堤の嵩上げ等、早期に改修が進むよう桂川改修促進期成同盟等と連携し、国、府への要望を強めてまいります。</p> <p>下流の国管理区間においては、嵐山の渡月橋下流の6号井堰が平成28年度から今年の6月にかけて撤去が完了し、久我地区では浚渫が行われているところです。亀岡市内においては、旧の保津橋から請田神社間の保津工区において暫定計画ステップ1である霞堤を除く築堤と高水敷掘削が平成28年度事業をもって完了したところです。大井町では目に見えた改修工事は行われていませんが、下流の亀岡市内及び京都市内においては改修工事が進んでいる状況であります。</p> <p>桂川右岸の千々川合流点から犬飼川合流点の間につきましては、隣接地で計画されている国営ほ場整備事業(桂川西工区)や桂川右岸道路構想との整合を図りながら進めることとしております。</p> <p>市議会や地元から要望されている桂川本川の堆積土砂の撤去につきましては、平成28年度京都府において、河川の状況調査が実施され、現在、浚渫箇所の検討を行っている聞いております。また、本市で管理する願成寺川につきましても集中豪雨等による浸水被害対策としまして土砂浚渫を行っております。</p> <p>昨年の12月に自治会から要望のあった桂川右岸堤防の脆弱につきましては、京都府において本年度堤防調査を実施し、その結果に基づき補強等を検討すると聞いております。</p>	土木建築部長	<p>①実施</p> <p>④要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こん談会時回答のとおり</li> <li>今年度、準用河川願成寺川において約120m区間の土砂浚渫を実施済です。</li> <li>亀岡市桂川改修促進期成同盟と連携し、10月26日に府へ要望活動を実施しました。また、11月14日に近畿地方整備局、11月17日に中央省庁等への要望活動を実施しました。</li> </ul>
		<p>治山施設(堰堤等)の設置につきましては、京都府(農林水産部)が行う事業ですが、市産業観光部が窓口となっております。</p> <p>大井町自治会から治山事業として北金岐区、南金岐区から各1カ所、合計で2カ所の要望を聞いており、南金岐区につきましては、京都府の治山事業として平成27年度に測量を実施し、平成29年5月に工事を完了したと聞いております。</p> <p>北金岐区につきましては、未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業で実施する計画で7月6日に工事の地元説明及び同意の取得を行ったと確認しており、これを受け8月頃には入札が出来る聞いております。</p> <p>他に治山事業に関する要望がありましたら、例年7月頃に京都府からの依頼を受け、8月頃には各町自治会宛に照会を行いますので要望をしていただきますようお願いいたします。また、亀岡市内の農業用ため池は全部で228ヶ所あり、老朽化が著しいものから随時、国の防災減災事業により改修を検討してまいります。</p> <p>なお、直接的な管理は土地改良区や各区にお世話になっているのが現状ですが、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。</p>	産業観光部 農政担当部長	<p>③検討</p>	<p>亀岡市内の農業用ため池について、優先順位をつけ、防災減災事業による改修計画を進めております。</p>	
6	大井町	大井小学校の全面改修計画について	<p>市内の多くの小中学校が建設から相当の年数を経過しており、改修が必要な状況が見られます。大規模改修につきましては、大きな費用が必要となることから、各学校施設の状況を見極めながら、国庫補助等財源確保に努めると共に、市の財政状況等も踏まえ計画的に進めてまいりたいと考えております。</p> <p>体育館フロアの塗装につきましては、今年の夏休み期間中には実施することで調整中です。また、利用者の方々からは、利用者負担として、電気代相当分を頂いておりますが、その内容については、社会教育団体の利用者調整会議等で説明してまいります。</p> <p>空調設備の関係につきましては、今年度で小学校の約半分程度の実設計画を行うこととしております。この実施については、国の補助採択、また、校舎の大規模改修等を勘案する中で対応してまいります。</p>	教育部長	<p>②実施予定</p>	<p>大規模改修、空調設備の整備については、こん談会での回答の通りです。</p> <p>体育館フロアの塗装については、夏休み期間中に完了し、使用していただいています。</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
7	大井町	平成28年度地域こん談会のフォローについて 大成中学校体育館の雨漏り対策の経過報告について	大成中学校の雨漏りの件については、昨年のかん談会において、一学期の終わりには経過報告をさせて頂く旨の回答をしたにもかかわらず、自治会へ報告できていなかったことは大変申し訳なく思っております。今後はお約束したことが十分に果たせるよう対応してまいります。	教育部長	①実施	大成中学校屋体の雨漏りについては、平成28年度以降調査・対策を重ねてきました。老朽化が進んでいることもあり、一進一退を繰り返しているところですが、現在は一定改善していることを確認しています。 今後も状況を確認しながら、継続して対策を行ってまいります。